

英語科学習指導案

日時 令和2年11月10日(火) 5校時
 学級 3年A組(21名)
 場所 3年A組教室
 指導者 佐々木 伸二

- 1 単元名 PROGRAM7 What Is the Most Important Thing to You? (1/6)
- 2 単元の目標 主格の関係代名詞(who, which, that)+動詞(+目的語)の形式を使って、人、もの、事がらについて詳しく説明することができる。
- 3 本時の目標 関係代名詞 who 使って自分の好きな有名人を紹介し、ファンを増やそう。
- 4 学習活動の流れ

段階	時間	学習活動	◇教師の指示 ●教師の支援 ◎形態 ★評価
課題設定	10	1 あいさつ 2 Warm Up (ペアトーク) 3 疑問詞 who の復習 ・この人はだれ? ・どんな人? 関係代名詞 who 使って自分の好きな有名人を紹介し、ファンを増やそう!	◎ペアで取り組ませた後、教師がナンバーカードを使用し全体でアランダムに会話を続ける。 ●会話の手助けとして Review シートを使用する。 ●生徒の興味を惹くために有名人の写真を使用し、どんな人かを言わせて学習課題につなげる。
課題解決	30	4 関係代名詞 who の用法説明 ・有名人を題材にした関係代名詞 who を使用した文を提示し端的に説明する。 ・用法説明 → ポイントシート記入 ・口頭練習 5 表現活動 ・関係代名詞 who を使い自分の好きな有名人の紹介文を考え発表する。 対話と思考 ・グループ内で発表(4人グループ) ・英作文 友達の発表を聞いて自分の作文を再考させ、文の訂正や追加を促す。 友達の発表内容 → 自分の内容の改善 Review シート ポイントシート → 英作文の補助	●いくつかのパターンの例文を提示し、語順に着目させ関係代名詞 who の特徴をつかませる。 ◎口頭練習は全体→ペアの順で行う。 ◇英語が得意な生徒は既習事項を取り入れるように、英語を苦手としている生徒には例文を参考にして英作を作り発表するように指示する ●Review シートも参考にさせながら英作文させる。 ◎4人いない場合は3人で行う。 ●机間巡視しながら苦手な生徒を援助する。 ★関係代名詞 who を正しく使い友達の紹介文を発表できる。
まとめる	10	6 成果の共有 改善した文を発表させる。 学習の成果 Ken is my friend who likes soccer. He has played soccer for five years. など 8 本時の学習を振り返り、次時の学習内容の確認をする。 ・終わりのあいさつをする	◎英語を得意としている生徒だけの発表にならないよう意図的に指名し発表させ、理解度と取り組み内容を確認し成果を共有させる。 ・次時の内容を確認する。

- 5 本授業での「対話と思考」に係る構想
 3年生の後半となると表現も数多く学習しているのだが、復習が不十分であると忘れていくことが多いのが実情である。そのため Warm Up のペアトークで既習事項を用い復習させながら、新出文法の表現活動にもつなげて定着を図りたい。また、グループ内で発表をすることにより友達が使用した表現を参考にさせ自分の英文を再考させ表現の拡充につなげていきたい。